

ボーカルジャズの歴史を塗り替えた、  
世界が認める！今世紀最大の本格派男性ジャズ・ヴォーカリスト

## José James ホセ・ジェイムズ

### ▼ 聞く人誰をも魅了し音楽へ惹き込む魔法の歌声

- ナット・キング・コールを彷彿させる上品でセクシー
- 息をのむ程スリリングな即興テクニック
- 伸びやかで、なめらかな上質シルキーヴォイス

### ▼ 自身の音楽コミュニティを築き活躍する ニュータイプ・シンガー

世界30カ国以上でパフォーマンスをし、ウイントン・マルサリスやマッコイ・タイナーといったジャズ界の巨匠とも共演。

ベースメント・ジャックス、ジャザノヴァ、ニコラ・コンテ、SOIL&"PIMP" SESSIONS、フライング・ロータスといったクラブ・シーンのアーティストとも積極的にコレボレート。稀に見る積極的な活動で自身の世界を造り上げた。

### 【プロフィール】 ミネアポリス生まれ、ニューヨーク在住のジャズ・シンガー

14歳のときにラジオから流れてきたデューク・エリントンの「A列車で行こう」を聴き、ジャズにのめり込む。最も影響を受けたミュージシャンはジョン・コルトレーン。ニューヨークの音楽大学でジャズを専攻しながら、各国の様々なジャズ・コンテストに参加。ロンドンのジャズ・コンテストで、ジャイルス・ピーターソンと運命的な出会いを果たす。ホセの声と音楽性に魅了されたジャイルスは、「15年にひとりの逸材」と断言し、この若き才能との契約を即決。

**2008年** ブラウンズウッド・レコーディングスの新たな才能としてデビューする。

国内外のジャズ / クラブ・チャートを総なめにし話題の新人として熱い注目を集める。

**2009年** ダンスミュージックやHIP-HOPを聞いてきたバックボーンから、DJ/プロデューサー達とも精力的に

コラボレーション。クラブジャズ界のベスト・ヴォーカリストとしてイギリス、ドイツ、日本と各国のプロデューサー達から、フィーチャリングヴォーカリストとしてのオファーが殺到。

**2010年** 名門ジャズレーベルVERVEの傘下にあり、ジョン・コルトレーンが所属していた老舗レーベルimpulse!契約。

満を持してトップ・ジャズミュージシャンの仲間入りを果たした。「JAZZ界の新たな灯火」と呼ばれ期待されている。

ジャズからダンスミュージックまで幅広い分野で自由に歌う、唯一無二の存在である。

### 【ディスコグラフィー】

★ 2010年itune Japan No.1 ジャズアルバム



2008年『DREAMER』  
(Brownswood Recordings)



2009年『BLACKMAGIC』  
(Brownswood Recordings)



2010年『FOR ALL WE KNOW』  
(Verve/ Impulse!)

「ジャズ・ヴォーカルというと人それぞれ想像する音に相当の隔たりがあると思いますが、男性歌手でテリー・キャリアーやリオン・トマスのように、ファンキーなR&B感覚にも通じながらどこか上品でインテリジェンスもあって、暖かみがある声が好きなら、ホセ・ジェイムズも気に入るでしょう。ジャズは技術も必要ですが、フィーリングも不可欠です。そのことを痛感させる歌手です。」  
-ピーター・バラカン/ブロードキャスター

「こういうシンガーはもう存在しないのかと思った。でも違った。ホセ・ジェイムズを聞くと僕達がなぜこんなにも音楽を愛するのかを思い起こさせてくれる。彼は独特な雰囲気を持ち合わせたいい声。男性ジャズ・シンガーに限っていうと、この15年で一番の逸材だね。」  
-ジャイルス・ピーターソン/ Radio/Club DJ、Brownswood Recordings 主宰